

# 日本生物物理学会 北海道支部講演会

## タンパク質立体構造データベースとその応用

日時： 2008年10月22日(水) 15:00~16:15

会場： 北海道大学 理学部 5号館 3階 304室  
(札幌市北区北10条西8丁目)

講師： 岩館 満雄 先生 (中央大学理工学部)

タンパク質の立体構造に関して、**CASP** (Critical Appraisal Skills Programme)をはじめとする国際コンテストの手法が認知されるとともに、**X線**や**NMR**等の実験でもしたかのような座標情報を算出できるようになってきている。その中でも主としてホモロジーモデリング法の技術によって、ゲノム上の任意のタンパク質はある割合で立体構造モデルが得られる状態にある。

本セミナーの演者はかつて NMR でタンパク質立体構造を実験的に解析する研究を主としていたが、上記の国際コンテストを転機として**バイオインフォマティクス**の中でも**立体構造予測**を専門とする分野を歩んできた経緯がある。本セミナーではその足跡とその集大成ともいえるモデルデータベース **FAMSBASE** を紹介するとともに、この分野の成果は何を可能としているのか？この分野に何が求められているのか？を議論していきたい。



問合せ先  
理学部生物科学科(高分子機能学)  
生命科学院生命情報分子科学コース  
理学部2号館805室  
出村 誠  
demura@sci.hokudai.ac.jp  
011-706-2771

学生・非会員のみなさまも参加いただけます